

The Newsletter of International College of Dentists JAPAN Section



2018年3月30日

vol.8 Issue 1

ご挨拶



フェローの皆様、平素はICD日本部会の活動にご理解とご協力賜り誠にありがとうございます。

さて昨年は錦齢会、台湾での国際理事会視察訪問、年末集会では女子プロゴルファー森口祐子プロの講演に聞き入り、アトラクションは鏡フェローらによる活力あふれる太鼓演奏に感動し大きなパワーを頂きました。翌日のエキスカーションでは歌舞伎観劇。たいへん良い年の瀬でした。

そして本年は、3月の冬期学会では近年入会されたフェロー4名が講演。6月2日には東京ステーションホテルに会場を移しての総会・認証式を予定しております。新しくなった東京駅、丸の内周辺、日本を代表する素晴らしい景観です。ぜひとも一人でも多くのフェローの参加をお待ちしております。

また2020年ICD国際理事会とICD創設100周年記念事業が日本で開催されます。折しもその年のICD会長には日本部会千田彰フェローが決定しております。日本部会にとってこの上ない喜びだと思えます。

次年度からは、この大きな事業への取り組みに日本部会一丸となって取り組まなければなりません。皆様のご理解とご協力宜しくお願い致します。

(一社)ICD日本部会 会長 水谷 忠司

歴代会長のことば



エポックメイキング

大寒を過ぎて東京では、4年ぶりの20cmを超える積雪や3年ぶりの皆既月食観察などの記憶すべき事象が起きました。

さてICD日本部会では、これからエポックメイキングな会務運営が予定されており、その1つに水谷会長の挨拶文にありますように、2020年の東京オリンピック開催後にICD創立100周年記念祝賀会を日本で開催すべく、その準備が本格的に始まるようです。

水谷執行部による2年間の会務運営は、早いもので今年が最終年にあたり、6月総会では次期会長にバトンタッチされる運びになっております。この2年間、水谷会長は東京での会議に遠路より出席され、担当理事および委員各位と共に会務運営に精力的に取り組んでこられました。2年間にわたる会務運営のご労苦に、フェローの1人として敬意と感謝の意を表します。

最後に、「老木」「枯れ木」として、私自身が会務運営の後方支援要員として携わることができましたことに感謝しております。

第27代会長 佐藤 吉則

.....
**2018年度
三大事業 開催予定**
.....

第61回総会・認証式

2018年6月2日(土)

東京ステーションホテル

年末集会

2018年12月15日(土)

帝国ホテル(東京)

*皆様のご参加を
お待ちしております*

◎ 総会・認証式

2018年度の国際歯科学士会(ICD)日本部会総会・認証式は6月2日(土)、東京都千代田区丸の内1-9-1東京ステーションホテルにて開催いたします。認証式の後には特別講演を予定しております。特別講演は(公社)日本歯科医師会会長の堀 憲郎先生にお話いただく予定です。今回の開催地である東京ステーションホテルは東京駅に隣接しているホテルで、利便性が高く、多くの出席者が予想されます。全く新しい場所での開催となりますので、滞りなく式を行えるように企画調整しております。

事業運営委員会(総会・認証式担当) 委員長 天野 恭彦

◎ 年末集会

2017年度年末集会は12月16日(土)に帝国ホテル 光の間にて開催され、水谷会長のご友人である、女子プロゴルファーの森口祐子氏にご講演を賜りました。

森口氏は高校3年生の時お父様とゴルフ練習場に行ったのがきっかけで、ゴルフを始めたそうです。プロテスト合格後、ワールドレディースで初優勝、以降わずか8シーズンで30勝を挙げ永久シード権を獲得、史上最年少メジャー3冠を達成されました。現在は主婦、母親、プロゴルファーの三役をこなし、テレビ解説者としても活躍されています。

アトラクションは当会員の鏡宣昭常任理事も和楽太鼓のメンバーとして力強い演奏会に参加され、ライブを盛り上げていただきました。因みに、鏡フェローは和太鼓を始めて20年以上になり、いつの間にかメンバー中で最古参となったそうです。

台湾での国際理事会、認証式へ参加されたフェローの写真もパネル展示され、懇親会は坂本フェローの司会のもと始まり、101名の参加者の方々と懇親を深めました。

事業運営委員会(年末集会担当) 委員長 佐野 修司



水谷会長と森口氏



演奏する鏡フェロー

◎ 冬期学会

2018年3月11日(日)ICD日本部会第48回冬期学会が日本歯科大学生命歯学部九段ホールにて開催されました。

今回の冬期学会メインテーマは昨年に引き続き「臨床のヒント Update Part II」です。講演Ⅰ 山田邦晶フェロー、講演Ⅱ 本田雅規フェロー、



山田フェロー



本田フェロー、弘中フェロー、辻村フェロー

講演Ⅲ 弘中祥司フェロー、講演Ⅳ 辻村 傑フェローとICD日本部会の各分野のエキスパートであるフェローを講師に迎え、日常臨床でそれぞれ創意工夫を凝らしているポイントや注意点といった“勘所”を中心に、今後の歯科界の先行きが展望されるような話もあり、我々の臨床に役立つと共に歯科医師としての知見を広め、将来への糧となる講演会となりました。

冬期学会終了後の懇親会では、演者の先生方を囲み大変楽しい時間を過ごすことができました。執行部はじめ多くのフェローの方々と事務局のご尽力のもと、有意義な冬期学会を執り行うことができました。ご協力をいただきました皆様に深く感謝いたします。

事業運営委員会(冬期学会担当) 委員長 宮本 克樹

◎ 改革推進委員会

改革推進委員会は定款並びに規約、さらには諸問題に関して、執行部から諮問された事項を協議・検討し、答申します。本年は富永正志常任理事、西山和彦理事、大岡 洋委員長、新谷雅隆委員、大木 亨委員、酒井周一委員の6名より構成しています。

2015年改革推進委員会で行ったアンケート結果を踏まえ、ICD日本部会の改革案の実行に邁進するべく活動しています。

改革推進委員会 委員長 大岡 洋

● 広報・編集委員会

広報・編集委員会では国際歯科学士会日本部会雑誌の発刊とホームページの管理、運営を柱にICDの活動を記録しつつ、広報、編集活動を続けております。

今年度も鏡宣昭常任理事、井上淳子理事の下、「国際歯科学士会日本部会雑誌 第48巻第1号」を発刊しました。

今号では特別企画「生涯を通じての歯と口の健康」として、来たるべき超高齢化社会に備え健康寿命を延ばし、快適な老後を過ごすための生涯の取り組みに着目し、現状から将来への展望を特集しました。その第一弾として小児期の取り組みとして成長発育をキーワードに小児治療の今昔、小児の成長発育と歯列矯正との関わり、小児歯科の海外事情を最前線の先生方に執筆いただきました。次号では続編を企画しております。

またより良い雑誌づくりを目指し、引き続き三大事業における講演内容をご紹介します、フェローの先生方からの投稿原稿を掲載していきますのでご協力をよろしくお願い申し上げます。

広報・編集委員会 委員長 田中 康雅

● 国際交流委員会

国際交流委員会では総会・認証式での海外来賓(ICD会長、各国ICDフェロー)および海外留学生との交流並びに、台湾および韓国部会認証式への出席等を引き続いて行っております。

今年度も総会・認証式にてICD国際会長と台湾部会来賓との交流、そして海外留学生3名との交流を企画させていただきました。

5月にはICD台湾部会の認証式に参加し、11月には国際理事会が台湾にて開催のため、日本部会からも水谷会長、小林前会長、千田国際理事、橋本国際理事をはじめ総勢24名が参加され、当委員会からも小峰常任理事、佐藤理事が参加しました。国際理事会にはICD会長のご臨席を賜り、日本部会の参加者共々現地会員との友好的な雰囲気の中、粛々と認証式および懇親会が行われました。現地ではICD韓国部会とも交流を持つことができました。

また、小峰常任理事がベトナム・ホーチミンの大学で講演する機会があり、ICDベトナム部会との交流会の中で、日本との交流を希望していることを伺い、後日執行部に報告させていただきました。

国際交流委員会 常任理事 小峰 一雄
委員長 歌橋 麗華

● 財務委員会

フェローの皆さんこんにちは。ICDも2020年に100周年を迎えることになり、さらに発展しすばらしい組織になることを期待したいと思います。それにしても会の運営を円滑にするには会費の入金状態が大きく関わって来ます。現在の会員数は減少傾向にありましたが昨年やや増加傾向になっているのは喜ばしいことです。しかし会費未納者も20名近くいらっしゃるということで、このような中で3大事業を始めとしてさまざまな活動を行うには厳しい状況にあります。しかしながら、2018年度は14名の入会希望者が予定されていることは喜ばしいことです。

これからICDの円滑な会運営のためには、新入会員のさらなる増加と会費未納者減少を期待したいと思います。それには魅力ある会になるようにフェローの皆さんご支援、ご協力をぜひお願い申し上げます。

財務委員会 委員長 小嶋 太郎

● 会員支援委員会

私共会員支援委員会は、会員の皆様の三大事業を始めとした活動の中で、1人でも多くのフェローがこの誇りあるICDのメンバーであることを喜びとしていけるよう皆様のサポートをさせて頂いております。今年度認証式に於いて19名のニューフェローをお迎えし、各種お手伝いをさせていただきました。また第2回錦齢会、第1回菁々会の開催も水谷先生のご指示の下無事に行われました。年末集会も盛会で益々ICDの発展を予感させるものとなりました。3月には冬期学会が開催されますが、委員会全員での参加とより良い運営をサポートさせていただきたいと考えています。2020年はICD創立100周年を迎えその記念事業と国際理事会が日本において行われます。世界のフェローとの交流の中、今後のより意義のある会員支援の在り方についても模索して行きたいと考えております。

会員支援委員会 委員長 安藤 正実

◎ 2017年度ニューフェロー紹介

アメリカ部会(1983～) / 日本部会(2017～)
名誉会員

桑田 正博フェロー

ICDフェローメンバーの西山和彦先生から川嶋仁一先生を紹介していただきました。先生方に推薦をしていただくことから「ICD日本部会名誉会員」に推挙されたのです。私がICDアメリカ部会の“オナラリーフェロー”に推挙されたのが、1983年10月1日でした。アナハイムで開催された1,000人をも超える盛大な式典には、ICD日本部会会長の河邊清治先生、佐藤貞勝先生方の姿もあり心強く思いました。

30数年の時を経て母国日本でも認めていただけた感慨は特別なものです。感謝しています。



新井 真澄フェロー

2017年、川嶋仁一先生、富永正志先生のご推薦をいただき入会させていただきました。新井真澄と申します。卒業以来臨床中心の生活を送ってまいりました。広く、浅くの知識しかございませんが、ICDの名前を汚さないように頑張りたいと思っています。

趣味は「読書」と申しまして、最近は、時代小説にハマっております。同業の上田秀人氏の作品は読破し続けております。人からは、お転婆で早飲み込みのおっちょこちょいと言われております。およそ、アカデミックとはかけ離れておりますが、何卒よろしくお願い申し上げます。



井上 富雄フェロー

この度、宮崎隆先生、真鍋厚史先生のご推薦により、伝統ある国際歯科学士会日本部会に入会させていただきました。大変光栄に存じます。

出身は兵庫県で、大阪大学歯学部を卒業後、同学部口腔生理学講座に大学院生として入局し、故河村洋二郎先生、森本俊文先生にご指導をいただきました。UCLAのScott H Chandler教授の研究室に2年半留学した後、同講座の講師を経て、2000年から昭和大学歯学部口腔生理学講座の主任教授を拝命し、現在に至っております。専門は吸啜、咀嚼を制御する神経機構の研究で、最近は嚥下の神経機構にも取り組んでおります。

ICD新フェローとして、歯科医学領域を通じて広く国際社会に貢献してまいりたいと思っています。ご



指導ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。

梅澤 富嶽フェロー

川嶋仁一先生、富永正志先生のご推薦をいただき、伝統ある国際歯科学士会日本部会に入会出来ましたことを、誠に光栄と思っております。

日本大学大学院歯学研究科を修了、日本大学歯科病院矯正科(当時)を経て、出身地である栃木県にて一般歯科診療及び更生(育成)医療指定医として唇顎口蓋裂の歯科矯正治療に携わってきました。その傍ら、自治医科大学付属病院歯科口腔外科に21年間、国際医療福祉大学病院口腔外科に8年間非常勤医として、唇顎口蓋裂患者様等の歯科矯正治療に関わって参りました。

今後、本会の綱領を胸に秘め、社会に貢献できるよう奮励努力する所存であります。

フェローの方々のご指導をよろしくお願い申し上げます。



岩城 邦昭フェロー

この度、宮崎隆副会長、真鍋厚史先生のご推薦により、2017年度新フェローとして国際歯科学士会に入会させていただきました。岩城邦昭です。

東京都出身で、昭和大学歯学部卒業後、保存修復学講座にて大学院を修了し1年間医局にお世話になりました。

その後、1995年に東京都品川区で開業しました。地区の歯科医師会では2年前まで執行部の一員として仕事をしてまいりました。

伝統あるICDに参加出来る事を光栄に感じ、微力ながら会の発展に尽くしたいと思います。

今後ともご指導ご鞭撻のほど宜しく願いいたします。



小野 聡フェロー

この度、千田彰先生、富士谷盛興先生のご推薦により2017年度新フェローとして国際歯科学士会日本部会に入会させていただきました。小野聡と申します。歴史と伝統のあるICDに入会させていただきました。大変光栄に存じます。

私は大分県大分市の出身で、出身大学は東京歯科大学です。卒後4年ほど横浜市内で勤務医をしたあとカ



ナダのマニトバ州立マニトバ大学歯学部修復科に留学しました。帰国後は大分市内の父の診療所で共に診療を行い現在に至っています。

フェローの先生方、今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

小畑 真フェロー

この度、ICD日本部会に入会させていただきました小畑真と申します。1998年に北大歯学部を卒業後、有床歯科診療所に勤務する傍ら、北大歯科麻酔科にて研修、歯科薬理学教室にて研究を行い、学位を取得。



2000年代半ば、歯科医師の医科研修が社会的に取り上げられるなど歯科界の諸問題が注目されてきた際に歯科の現場を理解した法律家の必要性を感じ弁護士になりました。

現在は、15年の一般歯科臨床経験を持つ日本唯一の歯科医療専門弁護士として、歯科医院のサポート、各種講演・執筆活動などを行っております。

引き続き、歯科界の発展に寄与できるように活動してまいりたいと思っておりますので、どうぞご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

酒井 周一フェロー

この度は、川嶋仁一先生、富永正志先生の推薦で入会させていただきました。お二人の先生とは、オレゴン大学のメンバーで、オレゴン大学でよく研修をしておりました。大学は、日本大学松戸歯学部を卒業し、保存修復学に卒業時から席をおいており、今でも、非常勤で学生実習を手伝っております。



また、海外の学会には、会員になっているので、主にAAP、ALD(アメリカレーザ学会)などは積極的に参加し、Operative Dentistry…はたまに参加していません。

趣味は、マラソンです。テニスもやっていましたが、忙しいので、マラソンメインでやっています。初めは、1度だけ参加をしようと思いましたが、続けてみると意外と奥が深く面白く感じ、40代は、多くのマラソンに参加し、ついに、海外まで行きマラソンに参加しました。海外のマラソンはオレゴンでした。オレゴンは秋の季節でしたが、結構寒かったです。いつかは、ホノルルも走ってみたいと思っています。その前にどこか(?)走るかもしれません。東京マラソンも2回走りました。趣味には、思っていませんが、英会話はなんとか、話せるようにしたいと、思っています。

簡単ですが、自己紹介は以上です。フェローの先生方どうか宜しくお願い致します。

佐藤 裕二フェロー

この度、宮崎 隆先生、今村嘉宣先生のご紹介で、伝統あるICDに入会させていただき、光栄に存じます。

広島大学大学院修了後、歯科補綴学第一講座の助教授、2002年からは昭和大学歯学部高齢者歯科学講座の教授を拝命しております。老年歯科医学会、補綴歯科学会、口腔インプラント学会、顎関節学会の専門医・指導医を取得し、幅広い分野に興味を持っております。



歯科写真撮影・補正が趣味で、歯科用カメラも部品を購入して自作しています。下手ですが、体力維持のために月に1~2回、家内とゴルフを楽しんでいます。

ICDでは、多くの魅力的な方との出会いと知的な刺激を受けることに期待しています。どうぞよろしくお願いいたします。

佐藤 美穂子フェロー

この度、宮崎 隆先生、今村嘉宣先生のご紹介で、伝統あるICDに入会させていただき、光栄に存じます。

福岡歯科大学卒業後、広島大学歯科補綴学第一講座で研修させて頂き、1986年に開業いたしました。口腔インプラント学会専門医を取得し、老年歯科医学会での発表・論文で学位取得いたしました。その他、顎咬合学会咬み合わせ認定医、抗加齢医学会専門医、歯科放射線学会準認定医、介護支援専門員など、資格取得を励みとしています。



月に4回程度のゴルフを楽しみ、国内外の多くのゴルフ場を回ることを目標としています。

ICDという華やかで知的な世界で、自分自身を磨くための刺激を受けたいと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。

武内 久幸フェロー

私は東京都国立市で開業している武内久幸と申します。

2017年4月に水谷忠司会長と、七沢久子先生の推薦を頂き入会させて頂きました。



私のライフワークは、歯科医療を向上させ、患者さんの生活・健康をより向上させることで、日本の健康も向上させる事です。

趣味はサッカーで、観戦とプレーを行っています。今年はロシアワールドカップです。日本代表と共に私も胸が躍る年となればいいなと思っております。

これから皆様方と色々語り合えるようになれる事を楽しみにしております。

今後共どうぞよろしくお願い申し上げます。

土屋 誠次フェロー

この度、宮崎隆教授、真鍋厚史教授のご推薦を賜りまして、入会させていただきました土屋誠次です。

平成2年に昭和大学歯学部を卒業し、平成14年に岐阜県岐阜市の生まれ故郷にて歯科医院を開業いたしました。

岐阜市は名古屋までも電車で15分と、交通の便もよく日本歯内療法学会会員として、中部支部の常任理事を10年以上務めさせていただきました。

ICDの先生方、今後ともご指導、ご鞭撻を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。



中村 朋美フェロー

この度、水谷忠司先生、小峰一雄先生のご推薦により、2017年度の新フェローとしてICD日本部会に入会させていただきました中村朋美と申します。

出身は群馬県前橋市、出身大学は日本大学歯学部です。大学卒業後は、同大学小児歯科学講座にて助手を務め、その後明海大学に在籍し、同時に豊島園にて開業しました。小児歯科専門医として地域歯科医療に貢献して参りましたが、10年ほど前からアンチエイジングにも特化した包括歯科医療を提供できるよう日々研鑽しております。現在は院長を務めながら、母校日大で非常勤講師として、臨床と学術に貢献できるように努力しております。新フェローとして伝統あるICDに微力ながら貢献させて頂きたく存じます。今後とも御指導御鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。



中村 亘フェロー

この度、昭和大学副学長 宮崎隆先生および昭和大学教授 真鍋厚史先生の御推薦により、歯科界の中でも歴史と伝統、品格のある国際歯科学士会(ICD)に入会させていただきました大変名誉なことと存じております。

さて、私は昭和40年の千葉県生まれで、平成2年に昭和大学歯学部を卒業後、故和久本貞雄名誉教授の主宰する保存修復学講座に大学院生として入局し研究、教育、臨床と学ばせていただきました。和久本教授退職後、久光名誉教授のご指導のもと平成6年に博士学位を拝受いたしました。その後、助手、兼任講師を経て、平成20年に昭和大学歯学部 総合診療歯科学講座の客員教授として臨床研修医の指導に当たっております。

現在、千葉県、埼玉県で5医院を運営し地域に根付



いた歯科医療の担い手として活動しております。

また、平成29年には家業である総合建設業、電気工事業の社長業も兼務しており毎日休みなく動き続けております。

入会に際し先輩諸兄の方々の哲学を学びながら会務に貢献したいと考えております。今後ともご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

西本 桂三フェロー

この度、千田彰先生、富士谷盛興先生のご推薦により2017年度国際歯科学士会日本部会に新フェローとして入会させていただきました西本桂三と申します。

愛知学院大学歯学部を卒業後、同大学の補綴学講座の大学院を修了し医局に数年お世話になってから地元の大阪府松原市に戻り開業いたしました。大阪では地区の歯科医師会の会長や愛知学院大学歯学部大阪府同窓会の会長を務めさせていただきました。地区では地域での歯科医療への貢献や他業種の方々と交流を通じて啓蒙活動などをしてまいりました。同窓会では会員相互の親睦と融和を図り同窓会活動の向上を目指してまいりました。

今後は本会を通じて少しでも歯科界の発展や、地域歯科医療への貢献ができればと考えております。皆様方のご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。



羽田 宣孝フェロー

今回、川嶋仁一、富永正志両先生のご推薦により入会しました羽田宣孝です。岐阜歯科を卒業後、静岡市内に開業して約35年、患者に支えられ、GPとして悔いなく過ごしています。去年は認証式、関東地区講演会と出席させて頂き、残り少ない歯科人生に不足がちなアカademikalな新風が注ぎ込まれた気がしています。「80過ぎでもデンテストーリーは楽しい」と言うオレゴンの先生を目標に歩いています。どうか宜しくお願い致します。



林 宏徳フェロー

この度、富士谷盛興先生との奇縁により、齋藤毅先生、堅田尚生先生に御推薦頂き、新フェローとして入会させていただきました林 宏徳(はやし ひろのり)と申します。伝統あるICDの末席に加えて頂き、大変光栄に感じております。

出身地は和歌山県で、平成8年に日本大学歯学部を



卒業後、齋藤毅教授の御指導で学位取得後さらに2年間、保存学教室に在籍しておりました。

平成14年に大学を退職し、14年間住んだ東京から出身地である和歌山県に戻り開業致しました。現在市歯会の理事をしております。

諸先輩方から、時間は作るものだとおっしゃいますが、なかなか時間がなく、仕事と家庭の両立の難しさを日々痛感しております。

今後は、ICDを通じ得る知識を、地域医療に役立てていければと考えております。若輩者ではありますが、御指導、御鞭撻の程、宜しくお願ひ申し上げます。

半澤 一明フェロー

この度、松尾先生、志田先生のご推薦により入会させて頂きました。

日本歯科大学新潟歯学部を昭和61年に卒業後、麻酔学講座にて学位を取得しました。

現在は東京都調布市と府中市にて開業、医療法人社団緑友会の理事長を務めながら日本歯科大学生命歯学部及び新潟生命歯学部附属病院総合診療科の臨床講師としてお世話になっております。

趣味はサーフィンを39年間続けており、一年中千葉、湘南、バリ島、ハワイで波乗りを楽しんでおります。

今後はICDの一員として国際社会貢献などに協力していければと考えておりますので、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願ひいたします。



弘中 祥司フェロー

この度、宮崎隆先生、真鍋厚史先生の御厚意にて、2017年新フェローとして入会させて頂きました弘中祥司(ひろなかしょうじ)です。山口県山口市の出身で、平成6年に北海道大学を卒業後、小児・障害者の分野で臨床・研究・教育に携わり、平成25年より、昭和大学歯学部で口腔衛生学の教授として、口腔健康管理について乳児から高齢者まで口腔機能を通じた幅広い研究を行っております。国内外での学会活動も積極的に行っており、名誉ある国際歯科学士会でさらなる諸先輩がたとの交流と新しい知見を深めたいと思いますので、どうぞよろしくお願ひ申し上げます。



森永 宏喜フェロー

この度、水谷忠司会長、坂本紗有見先生のご推薦により2017年度新フェローとしてICD日本部会に入会させて頂きました森永宏喜と申します。伝統ある組織の一員となり大変光栄に存じております。

1988年に東北大学歯学部を卒業、東京医科歯科大学第一口腔外科にて研修後、故郷の千葉県・南房総にて医院を継承、2010年に近隣に移転開業し現在に至ります。微力ながら地域医療に邁進して参りましたが、最近はおもろ分子医学を研鑽し米国抗加齢医学会(A4M)などで情報収集を行い、「歯科を出発点にした健康寿命の延伸」をテーマに情報発信しております。先輩フェローの皆様のご指導を頂きながら活動していく所存です。どうぞ宜しくお願ひ申し上げます。



第2回錦齢会 報告

平成29年10月29日(日曜日)に昨年同様帝国ホテル内にある「ラ・ブラッスリー」にて、9名の終身フェローをお招きして第2回錦齢会を開催しました。この会の目的は、歴史と伝統あるICD日本部会の貴重なお話を先輩フェローからお聴きして次の時代に繋げようということです。四役及び各委員会常任理事など24名の参加で、少人数ながらも和気藹々の雰囲気での笑いの絶えない会となりました。

会員支援委員会では、年代を問わずフェローの交流がスムーズにいくよう会員相互の結束を強固にして、国内外の歯科医療に関する情報収集と発信を行い常に歯科界をリードして世界貢献できる準備のお手伝いをしております。

春は、ニューフェローを中心にしたお花見、秋はこの錦齢会と継続的に行いたいと考えておりますのでご

参加ください。これらの企画は水谷会長のご提案で毎回盛会であります。また、会員のために役立つ企画があれば会員支援委員会にご一報ください。

会員支援委員会 担当理事 村岡 正弘



